

大安寺報



名句・名言に学ぶ

坂村真民(仏教詩人)

咲くも無心 散るも無心
花は嘆かず 今を生きる

今年の春の訪れはいつになく早く、また、期待していた「来さまい大畑桜ロード」のソメイヨシノの花は昨年ほどのボリュームもなく、すぐに葉桜となつてしまいました。それでも、八重桜や山桜、そして本堂前のドウダンツツジは、それを補ってくれたかのように満開の花を咲かせ、私たちの目を楽しませてくれました。しかし、このように花に対して一喜一憂するのは私たち人間だけ。また、花は「目を楽しませてあげよう」「去年以上にきれいに花を咲かせよう」という計らいや、「咲いてやっている」という慢心をもつて咲いているではありません。坂村真民が冒頭の詩で詠んでいるように、花は無心で咲き、無心で散り、嘆くこともなく、ただ花としての自分をその時その時で全うしているのです。

私たち人間も、そもそもはこの大自然の一部として生を受けた存在。その中で、様々な条件が重なった結果、人間は「自己」(認識主体)と「他者」(認識対象)を区別する「分別」する能力を得ました。こ

の能力は、社会生活を営む上では必要な能力ですが、これが行き過ぎると、認識主体を「我」として固執し、認識主体を「我がもの」として固執することにつながります。そして、自己中心的な固執が生まれ、それによって苦悩が生まれるのです。また、他者と比較して劣等感を抱いたり、劣った他者と比較して優越感を抱いてしまふことにもつながりかねません。誰に褒められなくても、また、他の花に劣等感・優越感など持たずに、ただ自然の摂理に従って咲いて、そして散っていく花。その時々で、あるべき姿を全力で生きる花。その姿に、私たち人間は大いに学ぶことができます。

生きるのに苦しい時、花のその「素直」な姿を楽しみ、その生きざまに思いを馳せる…。これからの季節、身の回りの花とそのように向き合ってみては如何でしょうか。

合掌



お寺で

朝 YOGA

朝のお寺でのヨーガで、のびやかな一日をスタートしませんか？



○日時

六月二十八日(日)
午前七時〜八時半

※午前六時四十五分受付開始

○内容

ヨーガ／茶話会

○場所

当寺本堂

○ヨーガ指導

中島敬子先生

○定員

三十名

○参加費

三百円

○備考

動きやすい服装で。

○事前予約

0175-34-6426 (Fax)、
info@daijanji.jp、
0175-34-2926 (電話)
まで、お名前をご連絡
ください。

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)